

DIA  
EARL STONE  
NATURAL STONE FEELING

天然石調厚付け仕上塗材 F☆☆☆☆

# ダイヤアールストーン

S工法：単色吹き

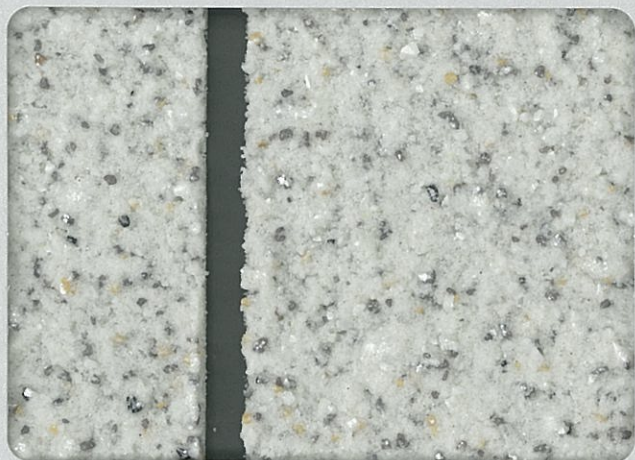


株式会社 ダイフレックス

# ダイヤアールストーン

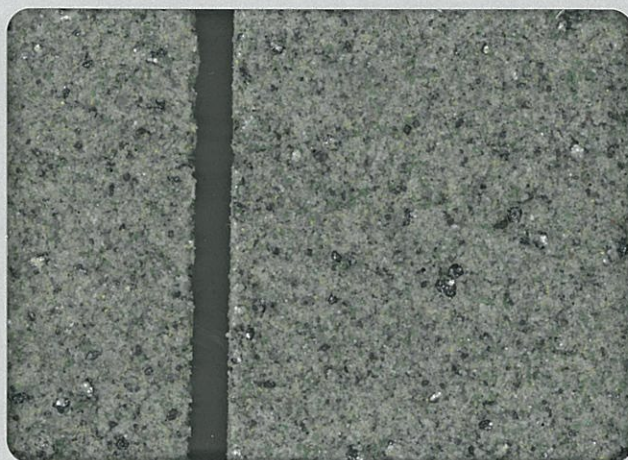
S工法:単色吹き

一段目地仕上げ

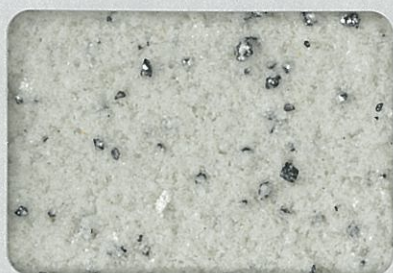


↑S-336 目地色:ブラック

一段目地仕上げ



↑S-346 目地色:モスグリーン



↑S-335



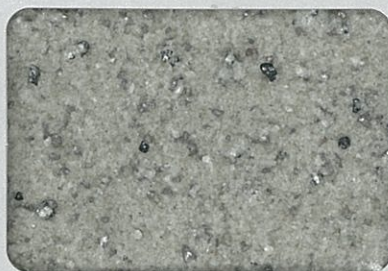
↑S-311



↑S-337



↑S-345



↑S-318



↑S-344



↑S-319



↑S-347



↑S-348



↑S-313



↑S-343



↑S-342

目地色



ライトグレー



グレー



モスグリーン



ブラック



↑S-340



↑S-339



↑S-341



↑S-338



↑S-301



↑S-303



↑S-304



↑S-312



↑S-308



↑S-306



↑S-307



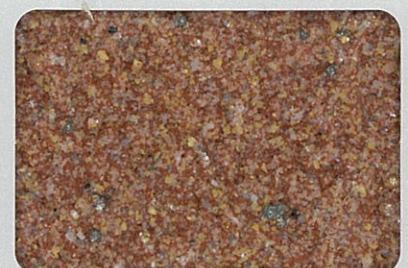
↑S-305



↑S-309



↑S-315



↑S-310

# ダイヤールストーン S工法:単色吹き

## ■ 施工工程表(目地なし)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	コンクリート、モルタルは十分に乾燥(含水率10%、pH10以下)する。レイタンス、エフロ、油、ほこり等を除去し、豆板、欠け、不陸、目違いはダイヤセメントフィラーで平滑に補修する。吸込み差がある場合は下地調整材(ダイヤセメントフィラー、ダイヤフィラーまたはセメンシヤス#2000)を全面に塗布し吸い込みを均一にする。						
1	ダイヤ目地用下塗材	20kg	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> 25~33m <sup>2</sup> /缶	1	—	5時間以上	ジュラクガン 口径5~6mm
	清 水	1~2%					
2	ダイヤールストーン主材	20kg	3.5~4.0kg/m <sup>2</sup> 約5m <sup>2</sup> /缶	1	—	4時間以上	タイルガン 口径6.5mm
	清 水	0.6~0.8%					
3	ダイヤールストーン主材	20kg	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> 13~20m <sup>2</sup> /缶	1	—	16時間以上	タイルガン 口径6.5mm
	清 水	0.6~0.8%					
4	ダイヤ ピフレッシュシリコン 艶消しクリヤー ※	15kg	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup> 37~50m <sup>2</sup> /缶	2	2時間以上	—	エアレス
	清 水	0~0.7%					

※間隔時間は標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。 ※下地調整が必要な場合の積算は、下地調整費を別途加算してください。

※一段目地仕上げ工法などの施工について、詳しくは別途標準施工仕様書を参照してください。 ※オプション仕様としてピフレッシュタイルクリヤー艶消し仕様もあります。(希釈剤ダイヤシナーPS)

## ■ 使用材料早見換算表

S工法	一段目		所要量(kg)	100m <sup>2</sup> の場合		300m <sup>2</sup> の場合	
	下吹	上吹		所要量(kg)	缶数	所要量(kg)	缶数
S工法	3.5~4.0	1.0~1.5	4.5~5.5	450~550	23~28	1,350~1,650	68~83

(備考) ※色別使用材料内分の比率は下限所要量を基準に算定しています。 ※S工法には二段目地仕様はありません。 ※所要量に対する缶数は、端数を切り上げ算定しています。

## ■ 包装単位

材料名	包装単位	
ダイヤ目地用下塗材	20kg缶	
ダイヤールストーン主材	20kg缶	
目地棒(2mm厚)	5mm幅×1m	100本包装
	7mm幅×1m	
	10mm幅×1m	
	15mm幅×1m	
ダイヤピフレッシュシリコン艶消しクリヤー	15kg	

### 《施工・管理上の注意》

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間、モルタル下地は夏期で1週間、冬期で2週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内の降雨、常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 冬期・低温時の施工で水系下塗材(シーラー)を用いた場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。状況に応じて溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 仕上材(トップコート)の施工にはリンガンを用いず、必ずエアースプレーガン、エアレススプレーガン等を使用してください。
- 2液反応硬化形溶剤系仕上材を使用する場合には、可使用時間中に使い切る量で混合使用下さい。
- 工程間隔時間は充分取って下さい。
- 特に溶剤系塗料は、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器やSDSの表示も合わせてご参照下さい。
- 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によってひび割れや汚染を生じる場合があります。
- 改装工事の場合は、別途ご相談ください。
- 大面積の場合、設計段階で許される範囲内で、できるだけ伸縮目地を設けるようにして下さい。
- 大面積の場合、躯体目地を利用して下さい。躯体目地に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げして下さい。隣接する仕上がり面に施工しないように、アテ板養生又は逆養生を行って下さい。
- 大面積の場合、テープ等により、目地を設けて下さい。水平及び垂直にテープ等を貼り付けて、目地を設けた後、逆養生してスパン毎に施工して下さい。
- 本施工に入る前に試験吹きを行い、吹付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- 下吹きは、下地が均一に隠れるように吹付けます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにして下さい。
- 上吹きは仕上げ吹きですから、山立ちをそろえながらムラなく廻し吹きし、やや厚めに吹付けて下さい。
- 上吹きの薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- 有色骨材による色調のため、見本と実際の仕上がり色とは多少異なる場合があります。
- その他施工仕様については、別途施工仕様書をご参照下さい。
- 材料は使用前に、電動ミキサー等で十分に攪拌下さい。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書をご確認下さい。

### 《安全衛生上の注意》

- 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は充分換気を行って下さい。
- 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の判断を受けて下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### 安全にご使用いただくためのお願い

この見本に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守って下さい。施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

この見本に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本の使用有効期限は、2022年1月ですのでそれ以降のご使用は避けて下さい。

 **株式会社 ダイフレックス**  
DYFLEX

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル  
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021  
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店